

**保存版 災害に備えて、今すぐ確認しましょう！**

- 緊急時の連絡先を記入しましょう。
- 記入したら、電話機の近くなど、普段よく目にする場所に貼っておきましょう。

緊急時連絡先等一覧表	
ご家族の間で、安否確認の方法を決めておきましょう。NTT 西日本や携帯電話会社の災害用伝言ダイヤルの使い方を確認しておきましょう。	
ご家族の連絡先	連絡先 1 お名前 ( ) 電話 ( )
	連絡先 2 お名前 ( ) 電話 ( )
	連絡先 3 お名前 ( ) 電話 ( )
電話が繋がりにくい場合でも、遠方なら繋がりがやすい場合があります。遠方の親戚等の連絡先も確認しておきましょう。	
遠方の親戚や友人の連絡先	連絡先 4 お名前 ( ) 電話 ( )
	連絡先 5 お名前 ( ) 電話 ( )
市役所の連絡先	連絡先 6 ( ) 課 電話 ( )
避難場所	避難する場所を、ご家族と決めておきましょう ( )、( )

今すぐ耐震化

貴方のお住まい、  
**大地震でも大丈夫？**

今すぐ耐震診断

古い木造戸建住宅は、耐震化が必要です！

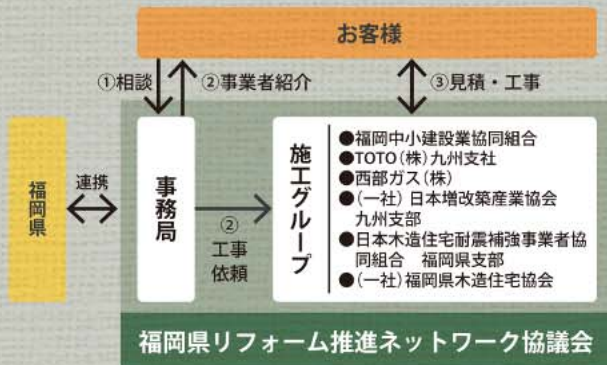


このちらしに関するお問い合わせ  
**福岡県リフォーム推進ネットワーク協議会**

当協議会は、良質な施工グループから組織されており、お客様は、安心して住宅リフォームの相談、設計、見積、工事をご依頼いただけます。

フリーダイヤル  
**0120-782-783**

[事務局]  
TEL&FAX **092-621-7038**  
〒812-0068 福岡市東区社領 1-2-9  
月～金；9～18時、土；10～17時、日祝；休み



耐震診断  
お客様負担額  
**6,000円**

耐震改修補助  
最大 **60万円**  
※助成率 40%

当事業は福岡県の補助を受けて実施しています

住まいの耐震化は、住まいづくりのプロ集団である私たち「福岡県リフォーム推進ネットワーク協議会」にお任せください！

《メニュー》

《料金》

《ポイント》

1	床下・小屋裏 進入調査付 <b>耐震診断</b>	<b>6,000</b> 円	*調査は半日程度です。 *大地震に対する強さが分かります。
2	<b>耐震改修設計</b>	<b>40,000</b> 円~	*設計は、耐震診断を行った事業者と同じ業者に依頼した方がスムーズです。
3	<b>耐震改修工事見積</b>	<b>無料</b>	
4	<b>耐震改修工事</b>	<p>【耐震改修工事費】 お客様負担額の目安 <b>約 120 万円</b></p> <p>●工事費 180 万円の場合 ●補助金 60 万円</p> <p>※日本木造住宅耐震補強事業者協同組合が、昭和 25 年から昭和 55 年に建築された建物で行った耐震改修工事の平均施工金額は約 183 万円です。</p>	<p>【八女市補助制度】 補助率 <b>40%</b>  最大 <b>60</b> 万円まで</p> <p>【補助の主な要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●昭和 56 年 5 月以前に建築した木造戸建住宅</li> <li>●現在の耐震基準に適合させる改修工事</li> <li>●八女市内の業者と契約すること など</li> </ul>

- 《改修内容》
- 耐震壁設置
  - 屋根葺き材軽量化
  - その他

福岡県リフォーム推進ネットワーク協議会

筑後地区相談窓口 (有限会社 江田建設内)

〒834-0034 八女市高塚 135-1

**☎ 0943-24-5585**

【電話相談】 平日 10 時~17 時    【対面相談】 要予約

相談窓口にお気軽に  
お電話ください。

相談は無料!

## 耐震診断やご相談などのお申込用紙

左の【切取線】より切り取り、下記にご記入頂き、ファックス等にてお申し込みください。  
受付後、担当よりご連絡差し上げます。

お名前

ご住所

お電話番号

(                      )

ご希望の項目  
(○印をつけて下さい)

1. 相談のみ
2. 耐震診断
3. 改修設計
4. 工事見積
5. 改修工事

※あなたのお住まいについて、該当するものに  チェックしてください。

問 1  専用住宅である

併用住宅である

問 2  平屋建てまたは 2 階建てである

その他 (                      )

問 3  木造戸建てである

その他 (                      )

問 4 建てた時期 (                      年                      月)

### 【資料】大地震であたのお住まいが受ける被害はどれくらい？

- 耐震診断を行うと、地震に対する強さを表す「評点」が与えられます。  
日本木造住宅耐震補強事業者協同組合が行った耐震診断の結果では、昭和 25 年~昭和 55 年に建築された住宅の **97%以上が評点 1.0 未満**でした。
- 下の表は、地震の震度と評点から住宅が受けるであろう被害の大きさを示したものです。  
**評点 1.0 未満では震度7の地震で倒壊する可能性**が高くなります。また、倒壊すると、命を落とす危険性が高くなります。
- 地震のときに家族の命を守るために、**まずは耐震診断**を行きましょう。

評点	震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7
0.4	小破	大破	倒壊		
0.7	小破	中破	大破		倒壊
1.0	無被害	小破	中破	大破	倒壊
1.3	無被害		小破	中破	大破

※参考：井戸田英樹、磯岡慎悟、梅村恒、森保宏「在来軸組木造住宅における一般耐震診断の評点と損傷度の関係 耐震改修促進のための意思決定ツールに関する研究 (その1)」、日本建築学会構造系論文集第 612 号、pp.125132、2007 年 2 月

お申込は FAX で ▶▶▶▶▶▶▶▶ FAX 092-621-7038